

事前質問・回答

質問	担当部署	回答
	産業振興課	就労後支援については、勤労福祉財団及びあかし若者サポートステーションと連携し、就労後の悩みも含めた就職相談会を2回／月実施している。 また、若年者の地元企業への就職と定着を図るための新たな支援制度として令和4年度実施に向け予算化した。
1-2-1 就労支援の連携	産業振興課 人権推進課	同一のものです。
	人権推進課	内定11名
2-1-1 若者支援地域ネットワークの構築	シティプロモーション室	A（ひきこもり2年）、地域包括支援センターから同行依頼のケース 家族構成：父（70代、金銭管理ができない）、母（70代） 叔父が地域包括支援センターに母の介護認定等の相談をする際、2年前に退職し、ひきこもりの状態にあるAについても相談した。地域包括支援センター職員が叔父に同行し、高砂市地域福祉課にAについて相談した。

事前質問・回答

質問		担当部署	回答
2-1-2 ひきこもりの支援	<p>・相談件数18件の相談者の内訳（ひきこもり当事者のみ、家族のみ、当事者と家族など）、面談の形態（訪問、来訪など）、相談内容の内訳についてご教示ください。</p>	地域福祉課	<p><b>【相談者内訳】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもり当事者 1件</li> <li>・家族 16件</li> <li>・当事者と家族 1件</li> </ul> <p><b>【面談の形態】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪</li> </ul> <p><b>【主な支援内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援（就労希望）</li> <li>・家族との関係悪化について</li> <li>・親の亡き後の当事者の生活について</li> <li>・受診の促し方について</li> </ul>
3-1-5 若者の結婚新生活への支援	<p>・「当初計画通りの申請数」があり、「前年度比170%増」ということですので、新婚世帯へ高砂市定住を促すきっかけになったのではないかと思います。今後、このような支援、または類似の支援についての計画などはございますでしょうか。</p>	シティプロモーション室	<p>市外からの転入を伴う世帯は全体の7割以上あり、当該事業のアンケートにおいても、「経済的不安の軽減につながった」や「地域からの支援を実感できた」との回答も多いことから、人口減少施策としての一定の効果があったものと考えます。</p> <p>この事業結果から、移住については一定の効果があったものと考えますが、本市において20歳代、30歳代の転出超過の状況があることから、その年代の定住には至っていない状況が見られます。</p> <p>このため、本市における今後の移住定住施策については、基本的には個別対象への給付事業を行うのではなく、安全・安心や福祉・教育、都市整備など、市の事業・施策全体をバランスよく進めることで対応していくことが、最終的な移住・定住につながるものと考えます。</p>